

ハンセン病に対する正しい理解を



ハンセン病は、らい菌により感染しますが、感染力はとても弱く、ほとんど発病の危険性はありません。また、現在では治療薬により完治します。

主に皮膚や末梢神経が侵される病気ですが、早い時期に診断し、治療すれば身体に障害が残ることはありません。

現在、全国の療養所で生活している人がいますが、

ほとんどの人がハンセン病自体は完治しています。

しかし、高齢者で身寄りがないこと、長期間にわたり社会との交流が絶たれてきたことなどに加え、ハンセン病に対する偏見や差別意識が、地域社会への復帰を妨げる一因になっています。

その他の人権問題

このほかにも、たくさんの人権に関わる問題が存在しています。



インターネットなどによる人権侵害

近年の高度情報化社会を背景として、誰もが手軽で、便利な情報の発信手段の一つとしてのインターネットが急激に普及してきました。

インターネットの普及に伴い、その匿名性を悪用し、インターネット上の電子掲示板やホームページに人権を侵害する情報の書き込みなどが増加し、大きな社会問題となっています。

また、携帯電話のメールなどを使った誹謗中傷などによる人権侵害も多く発生しています。

一人ひとりが
ルールやマナーを
守らないといけないね!

その他の人権

犯罪被害者やホームレスの人々に対する偏見や差別などたくさんの人権に関する新たな問題も生じています。

それぞれの人権問題について、市民一人ひとりが関心を持ち、正しく理解することが重要です。

